

令和7年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立高等学校 定時制)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	未来を創る しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者(教職員を除く)	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 7 年 月 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	○募集停止後の教員数減少に伴う教職員の校務負担増が想定される。また、教育の質の低下が懸念される。	「教員数の減少を見据えた効率的な学校運営の組織及び方法を検討し推進する。」 ①定時制の今後について定時制全教職員で検討し、解決を図る。 ②効率的かつ効果的な組織運営を行うとともに働き方改革を継続し、教育の質を向上させる。	①定時制の今後について、課題を整理し、市教委と連携し解決する。 ②行事等を精選しつつ、新たな取り組みを実施しながら教育の質を向上させる。			
教育課程	○募集停止後の生徒数減少に伴い、教育の質の低下が懸念される。 ○生徒の目標が「高校卒業」だけでなく「将来を見据えた進路実現」に大きく変わってきている。学校の現状を踏まえたカリキュラムが必要である。	「教育課程の円滑な実施を進める」 ③教育内容の保障について、市教委に働きかけ、教育活動の維持、充実に努めていく。 ④生徒が主役となる教育を推進し、何事にもあきらめずチャレンジし続ける生徒を育てる。	③生徒数減少により生徒が不利益を被らないよう関係各所に働きかけ、教育活動の維持、充実に努める。 ④4年間を見通した系統的なキャリア教育を実施し、生徒の自己理解の深化、進路意識の醸成を図る。 ④ICT等を活用した学びや体験活動、学び直し、日本語指導など、生徒一人一人に沿った指導の充実策を実施する。			
開かれた学校づくり	○夜間定時制のため外部連携が難しい面がある。 ○定時制生徒の半数以上が長期欠席経験者や日本語を母語としない生徒である。 ○定時制の魅力ある学びの発信をより一層充実させることが求められている。	「積極的に広報するとともに外部組織や地域とWin-Winな関係づくりを構築する」 ⑤外部組織との連携を一層強化し、生徒の将来を見据えた様々な学びを推し進める。 ⑥様々な媒体、機会を活用し定時制の魅力発信する。	⑤全日制や附属中、外部組織や地域との連携を積極的に行う。 ⑤近隣他校と情報共有しながら、多文化共生や日本語指導等を押し進める。 ⑥HPやSNSを活用し定時制の魅力発信していく。			
教職員の資質向上	○組織的かつ計画的な研修体系を構築する必要がある。 ○定時制教員数が少ないことから、研修参加が難しい面がある。 ○ICT活用の流れを後戻りさせないという意識の下、教育活動を充実させる必要がある。	「教職員の資質向上を推進させる」 ⑦校内研修を計画的に行い、教職員の指導力向上を図る。 ⑧校外研修への教職員の積極的な参加を推奨する。	⑦保護者も含めた公開授業、研究授業を実施する。 ⑦ICT等を効果的に活用できる研修を実施する。 ⑧校外研修へ積極的な参加を推奨する。			
施設・設備等の管理	○全日制、附属中との情報共有し、緊密な連携体制を構築し、安心安全な学校生活を保障する必要がある。	「施設設備の効果的な活用と安心安全な学校生活の保障する」 ⑨定時制特有の課題に対して安心・安全を確保する。 ⑩施設・設備を活かした教育活動を展開する。	⑨⑩自転車点検や登校指導、不審者等の防犯対策など安全確保と安全点検を行う。 ⑨⑩生徒が様々な犯罪に巻き込まれないよう様々な機会を活用し、生徒の意識の高揚を図る。			

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和8年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	